

令和3年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる
施策の目標	さまざまな媒体からすみだの魅力が発信され、これまで以上に国内外から多くの人々が「国際観光都市すみだ」にあこがれ、訪れています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	墨田区観光協会のホームページ年間訪問者数									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					335,000					350,000
実績	230,000	290,365	281,443	246,985	197,991					

指標名	区内を訪れる観光客数（観光関連施設入込客数及びイベント入込客数）									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					9,800,000					10,000,000
実績	9,175,663	8,020,055	8,211,870	7,468,410	2,458,695					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
東京オリンピック・パラリンピック大会の延期及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、成果指標はいずれも、目標を大きく下回る結果となっている。 インバウンド需要の回復が当面見込めない中、事業内容の再構築が必要となっている。	H30	51,102
	R1	40,016
	R2	19,193

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	時代の変化に合わせ、これまでの紙中心による情報発信から、デジタルでの情報発信へとプロモーションの手法を変容させていくほか、インバウンド需要の落ち込みに対する当面の施策展開を検討していく必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
アフターコロナを見据えた観光施策の見直しが必要なため。	
【今後の具体的な方針】	
観光客の情報取得方法の多様化にあわせた適切な情報発信、一部事業の観光協会自主事業化	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果 評価対象年度
1	一般向け観光情報発信事業	12,506	7,058	19,564	800,000	改善・見直し
					446,210	令和2年度
2	向島花街の新生事業	4,850	2,647	7,497	5,000,000	現状維持
					4,848,500	令和2年度
3	広域連携事業 (台東連携協定等)	847	3,529	4,376	9,800,000	改善・見直し
					2,458,695	令和2年度
4	教育旅行誘致事業	990	441	1,431	3,500	改善・見直し
					275	令和2年度
5	外国人観光客受入整備事業	0	2,647	2,647	25,000	統合や縮小を検討
					0	令和2年度
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事業名	一般向け観光情報発信事業				1	
目的	区内の観光資源・観光素材の情報を効果的に発信・PRすることで、区の観光振興を図る。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対象者	墨田区及び観光サイトを訪れる観光客					
根拠法令 関連計画	墨田区観光振興プラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人 委託先 一般社団法人墨田区観光協会	
事業内容	<p>1 フィルムコミッションの運営 区内で行われるドラマ・CM等の撮影を支援し、マスメディアを活用した観光情報の発信を行う。</p> <p>2 観光案内冊子の制作及び配布 観光情報等を掲載したフリーペーパー、マップ等を制作及び配布し、紙媒体を活用した観光情報の発信を行う。</p> <p>3 WEBサイトを活用した観光情報発信 一般社団法人墨田区観光協会のHPを活用し、観光情報を掲載することにより、区内外に向けて、観光情報を発信する。</p>					
経過	開始年度	平成22年度		終了予定		
	<p>平成22年度 ロケ支援の試行の実施 平成23年度 フィルムコミッション事業運営開始 まる得ブック第1号刊行 ～ 平成31年度 まる得ブック第9号刊行 令和2年度 すみだ観光BOOK2021制作(電子)</p>					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
予算現額(事業費)		21,104	20,462	21,345	20,556	14,716	9,214	
A.決算額(令和3年度は見込み)		21,104	20,469	21,050	18,655	12,506	9,214	
財源	国							
	都							
	その他							
一般財源		21,104	20,469	21,050	18,655	12,506	9,214	
執行率(%)		100.0%	100.0%	98.6%	90.8%	85.0%	100.0%	
B.人コスト				7,875	6,990	7,058		
総事業決算額(A+B)		21,104	20,469	28,925	25,645	19,564		
主な事業費用の説明		フィルムコミッション運營業務委託 観光案内冊子制作						
予算書P(令和3年度)		205		執行実績報告書P(令和2年度)		150		

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	フィルムコミッション撮影支援件数(作品数)				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	35	35	40	40
				実績	65	32	39	39
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	45	45	45	50	50
	実績	35						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	撮影支援を行った件数を、情報発信の件数と捉え、指標を設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区観光協会HPのページビュー数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1000000	R7	目標	700000	750000	750000	800000
				実績	658381	731842	681842	646367
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	800000	850000	850000	900000	900000	1000000
実績	446210							
指標の選定理由及び目標値の理由								
情報発信の結果、墨田区に興味を持った人の数を成果指標と考え、指標を墨田区観光協会のHPのアクセス数に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	時代の変化に合わせ、紙媒体での情報発信は、令和3年度は見合わせとする。

課題・問題点
誰に向けた情報なのかを精査した上で、どのような媒体により情報発信することがよいか等、情報発信の方法について見直しをしていく。

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位
事 業 名	向島花街の新生事業		2
目 的	江戸文化の趣を残す「向島花街」は、江戸時代から残る伝統文化であり、本区の重要な観光資源である。向島花街を中心とした地域産業の活性化により、向島地域の持続的な発展と活性化を図るとともに、向島花街の伝統文化を守り、後世に継承していく。		主管課・係（担当）
			観光課観光担当
			03-5608-6500
対 象 者	向嶋墨堤組合、墨田区観光協会		
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区観光振興プラン		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤:0.3人
事 業 内 容	向嶋墨堤組合又は墨田区観光協会が行う、持続的な向島花街の活性化を図る事業への支援 ・向島芸者の稽古場の環境設備の改修 ・向嶋墨堤組合が行った組合費の免除に対する補填支援		
経 過	開始年度	令和2年度	終了予定
	令和2年12月 向島花街の観光振興における連携に関する基本協定を締結 令和2年度 協定に基づく協議・意見交換、加盟料亭への新型コロナウイルス影響調査 令和3年度 協定に基づく協議・意見交換、加盟料亭への新型コロナウイルス影響調査		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）						5,000	7,000
A.決算額（令和3年度は見込み）						4,850	7,000
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	4,850	7,000
執行率（%）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.0%	100.0%
B.人コスト						3,529	
総事業決算額（A+B）		0	0	0	0	8,379	
主な事業費用の説明		・向嶋墨堤組合への補助金					
予算書P（令和3年度）	206	執行実績報告書P（令和2年度）			149		

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	持続的な向島花街の活性化を図る事業				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		5	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	3	5	5	5	5
		実績	2					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	向島花街の伝統文化の継承・認知度向上を図る事業を実施する必要があるため							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	持続的な向島花街の活性化を図る事業への補助				単 位	円
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
10,000,000		R7	目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	5,000,000	7,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
	実績	4,850,000						
指標の選定理由及び目標値の理由								
新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている向島花街に対する支援が必要なため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要を取り戻し、向島花街の伝統文化を継承するため、継続的に向島花街の支援を行っていく。 向島墨堤組合と墨田区観光協会と連携を強化して、持続的な向島花街の活性化に向けて取組んでいく。

課題・問題点	
<p>向島花街の利用客の減少に伴い、料亭件数が減少している。 利用客が減少したことで、向島地域に芸者がいる風景が失われ、また料亭の減少によって花街の雰囲気も失われてきている。 芸者の芸の披露の場が減少したことによる芸者のモチベーションの維持、後継者の育成が重要である。</p>	

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位
事 業 名	広域連携事業(台東区連携協定等)		3
目 的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、他自治体と連携して効果的にプロモーション活動を実施することで、観光客の誘客及び回遊性の向上を図る。		主管課・係(担当)
			観光課観光担当
			03-5608-6500
対 象 者	観光客		
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区観光振興プラン		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤:2人・一般社団法人墨田区観光協会等
事 業 内 容	1 台東区との連携事業 クルーズ船運航イベント ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止 2 EAST TOKYO協議会 台東区、江東区、東京スカイツリー社と連携し、東京下町エリアとして、プロモーション活動を実施。 3 その他自治体との連携 (1) 忠臣蔵サミット参加 (2) 青森県弘前市との連携事業(北斎祭り)		
経 過	開始年度	平成30年度	終了予定
	平成29年10月 東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定を締結 平成30年 連携事業を開始 令和元年 他自治体との連携事業に係る予算を本事業に移管 令和3年3月 東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定の協定期間を令和4年3月31日まで期間延長		
議 会 質 問 の 状 況			
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)				6,000	15,031	4,215	5,893
A.決算額(令和3年度は見込み)				5,908	14,350	847	5,893
財 源	国						
	都						
	その他				3,924	148	2,000
一般財源		0	0	5,908	10,426	699	3,893
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	98.5%	95.5%	20.1%	100.0%
B.人コスト				3,937	3,495	3,529	
総事業決算額(A+B)		0	0	9,845	17,845	4,376	
主な事業費用の説明		・合同事業実施に伴う委託料および負担金					
予算書P(令和3年度)	205		執行実績報告書P(令和2年度)		150		

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	連携事業の取組数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R7	目標			3	3
				実績			5	9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	
		実績	3					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	複数事業を実施し、さらなる観光誘客を図る必要があるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	区内を訪れる観光客数 (観光関連施設入込客数及びイベント入客数)				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
10,000,000		R7	目標	9,100,000	9,300,000	9,500,000	9,650,000	
			実績	9,175,663	8,142,160	8,211,870	7,468,410	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	9,800,000	9,800,000	9,900,000	9,900,000	9,900,000	10,000,000	
	実績	2,458,695						
指標の選定理由及び目標値の理由								
観光誘客の指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要を取り戻す為、広域連携のメリットを活かし、連携自治体の観光資源をフックに相互の誘客・回遊に取組んでいく。

課題・問題点
<p>本事業の取組が成果指標に直接的にどれだけ寄与しているかの把握が難しい状況になっており、成果の検証までを意識した事業の実施方法に見直すとともに、コロナウイルス感染症収束まではイベント等の確実な実施が難しいためコロナ禍における観光事業の成果指標についても検討する必要がある。</p> <p>自治体毎に観光の状況や方向性が異なる部分がある中で連携事業を実施するには、相互にとってメリットとなるような事業内容とする必要がある。</p>

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事 業 名	教育旅行誘致事業				4	
目 的	地方の公立小中学校及び高等学校に対して、墨田区の観光素材を広く周知するとともに、地区内の各旅行会社に向けてセールス活動を実施し、修学旅行受入実績の更なる向上を目指す。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対 象 者	地方の公立小中学校及び高等学校					
根 拠 法 令 関 連 計 画						
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	一般社団法人墨田区観光協会	
事 業 内 容	<p>●墨田区への教育旅行誘致のための観光プロモーション業務委託 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、都内教育委員会及び公立小中学校を対象に、墨田区での教育旅行(校外学習等)の誘致活動を企画・実施した。</p>					
経 過	開始年度	平成26年度	終了予定			
	平成26年度 「教育旅行誘致に関する分科会」発足 平成27年度 富山県で説明会を開催 平成28年度 青森県、大分県、福岡県で説明会開催 平成29年度 「近畿地区中学校修学旅行研究大会」に参加 平成30年度 富山県・石川県で説明会開催。研究大会に観光協会が参加 令和元年度 仙台市で説明会開催 令和2年度 コロナ禍に対応し、都内で誘致活動を実施 令和3年度 事業見直しに伴い、観光協会の自主事業化 ※令和元年度に「観光プロモーション推進事業」から細分化された。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
予算現額(事業費)					1,652	1,225	0	
A.決算額(令和3年度は見込み)					882	990	0	
財 源	国							
	都							
	その他							
一般財源		0	0	0	882	990	0	
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	53.4%	80.8%	#DIV/0!	
B.人コスト					437	441		
総事業決算額(A+B)		0	0	0	1,319	1,431		
主な事業費用の説明		・墨田区への教育旅行誘致のための観光プロモーション業務委託						
予算書P(令和3年度)	—	執行実績報告書P(令和2年度)			150			

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	観光素材説明会への出席人数(1回あたりの平均人数)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		40	R7	目標	40	40	40	40
				実績	175	0	84	40
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	40	40	40	40	40	40	
	実績	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	より多くの中学・高等学校、旅行会社関係者に出席してもらうことで、墨田区のPRにつなげ、墨田区を修学旅行で訪れる回数が増えることが期待されるため。 ※目標値は1回あたりの出席人数。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区教育旅行受入人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
3000		R7	目標	3000	3000	3000	3000	
			実績	2819	3410	3104	3658	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	3500	3500	3500	3500	3500	3500		
実績	275							
指標の選定理由及び目標値の理由								
修学旅行誘致事業の効果が顕在化するため。 ※修学旅行の入札時期は、修学旅行実施の2年ほど前とされているため、当年度の実績は2年前のPRの効果と推定される。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和2年度は、コロナ禍に対応し、誘致の対象を都内の教育委員会及び公立小中学校とし、内容についても移動教室等の宿泊を伴わない活動の提案を実施した。今後もwithコロナの時代に合わせて業務内容を見直していく。 なお、委託事業の精査に伴い、令和3年度からは観光協会の自主事業化を行った。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行の在り方も大きく変化すると推測される。 墨田区観光協会とともに、コロナ禍における墨田区の観光素材の見せ方及び効果的な誘致手段を検討し、有効なシティーセールスを実施していく。

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位
事 業 名	外国人観光客受入整備事業		5
目 的	外国人観光客が安心して快適に区内を回遊し、すみだの魅力に触れられるように、環境整備を行う。		主管課・係(担当)
			観光課観光担当
			03-5608-6500
対 象 者	外国人観光客		
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区観光振興プラン		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 一般社団法人墨田区観光協会
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多言語観光案内冊子の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・観光冊子「本物が生きる街すみだ」の制作 ・海外旅行誌「Good Luck Trip」への観光情報の掲載 ○ 外国人向けイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆかたdeガイドツアー」の実施 		
経 過	開始年度		終了予定
	平成26年度	区内観光案内所へのフリーWi-Fi設置・多言語観光案内冊子の制作委託 外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出開始	
	平成27年度	外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出	
	平成28年度	外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出・Wi-Fiルーター無料貸出PR事業	
	平成29年度	外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出終了・多言語観光案内冊子の制作委託	
	平成30年度	多言語観光案内冊子の制作委託	
令和元年度	多言語観光案内冊子の制作委託・外国人向けツアー実施運営委託		
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により誘客イベント(ゆかたdeガイドツアー)及び冊子制作・掲載委託事業を中止		
議 会 質 問 の 状 況	平成27年 第4回定例会 多言語冊子の作成等外国人観光客受入環境整備について 平成28年 第4回定例会 多言語冊子の作成状況について		
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		3,930	3,472	2,700	6,130	5,550	0
A.決算額(令和3年度は見込み)		3,112	3,151	2,700	6,129	0	0
財 源	国						
	都	1,471					
	その他	500	715	1,350	695		0
一般財源		1,141	2,436	1,350	5,434	0	0
執行率(%)		79.2%	90.8%	100.0%	100.0%	0.0%	#DIV/0!
B.人コスト				2,953	2,621	2,647	
総事業決算額(A+B)		3,112	3,151	5,653	8,750	2,647	
主な事業費用の説明		委託料					
予算書P(令和3年度)	—		執行実績報告書P(令和2年度)		150		

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	多言語冊子の種類				単 位	種
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R2	目標	5	6	7	8
				実績	5	6	7	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
	実績	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	外国人観光客向けのPRや観光情報の周知の手段として多言語観光案内冊子を制作しているため、冊子の種類を指標とした。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	多言語冊子の配布部数				単 位	部
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
25,000		R2	目標	13,000	16,000	18,000	20,000	
			実績	13,000	16,000	18,000	20,000	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		25,000						
実績	0							
指標の選定理由及び目標値の理由								
墨田の魅力を情報発信することで、訪れる外国人観光客の案内性を高め、回遊性を向上させることが目的であるため、冊子の配布部数を指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当面の間、インバウンドの回復が見込めないことから、事業を縮小する。

課題・問題点
<p>アフターコロナを見据え、今後の観光施策を見直すとともに、外国人観光客を対象とした本事業についても、位置づけを整理していく必要がある。</p>